

阪神高速道路堺線 湊町～玉出間道路照明



耐震性の優れたアルミダイキャスト製高圧ナトリウム灯器具を使用し、ランプは「ツインネオルックス-L」を採用

阪神高速15号線・17号西大阪線は、大阪市中心部と大阪府南西部を結ぶ路線であり、1日当たり約14万台の利用台数を有する重要な役割を担う路線です。経年による老朽化で、道路構造物が著しく損傷していたため、今回抜本的な補修工事が行われたものです。

道路照明は、従来はFRP製低圧ナトリウム灯器具+10m長円形ポールが使用されていましたが、今回は耐震性に優れたアルミダイキャスト製の高圧ナトリウム灯器具（プレアロード阪神高速仕様）+10m直線ポールに更新。ランプはメンテナンス性を考慮してツイン発光管形高圧ナトリウムランプ「ツインネオルックス-L」が採用されています。

所在地：大阪府大阪市浪速区～西成区
 施主：阪神高速道路（株）
 施工：阪神ユニテック（株）
 竣工：平成20年2月



耐震性に優れたアルミダイキャスト製の高圧ナトリウム灯器具（プレアロード阪神高速仕様）+直線ポールを採用



プレアロード1灯用が立ち並ぶ湊町出口付近



1灯用プレアロード



2灯用プレアロード

■主な照明器具

灯具	HW-22101-HAN（阪神高速仕様）	358台
ランプ	NHT180.LSS-N	358本

近畿自動車道 門真IC～東大阪IC間本線照明



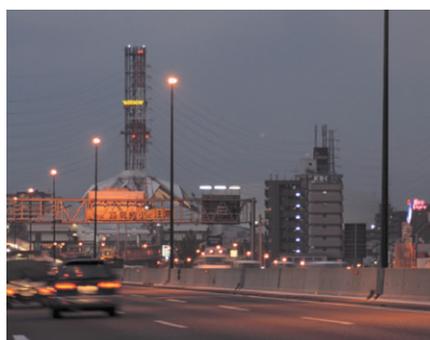
近畿自動車道の本線照明を前方主体配光照明器具に改修

吹田JCT～松原JCTを結ぶ近畿自動車道路のうち、門真IC～東大阪IC間において、老朽化した照明設備の改修が行われ、前方主体配光照明器具（プレアウイング）を用いて中央分離帯に道路縦断方向に設置する照明方式が導入されました。この方式は照明器具前方方向に広がる配光の照明器具を道路横断方向にポール前後に設置することによって輝度均斉度を大幅に改善しています。照明器具は2車線区間では270W、3車線区間では360Wの高圧ナトリウムランプを光源としており、鉛直角約60°方向をピークとした前方主体配光としています。片側方向の規制のみで照明器具の点検が可能であり、道路利用者に対する走行障害が軽減され、サービスの向上が期待されています。

所在地：大阪府門真市～大阪府東大阪市
 施主：西日本高速道路（株）
 施工：三宝電機（株）
 竣工：平成19年12月



2車線区間全景 照明器具の設置間隔は既設基礎を使用した80mで、設置高さは12m。平均路面輝度は0.7cd/m²以上が確保されている



3車線区間全景 3車線区間では360Wの高圧ナトリウムランプを使用している



照明柱外観



照明器具外観（プレアウイング）

■主な照明器具

	仕様	形名	台数
	前方配光形照明器具 指定色塗装	HT-4000P-C	86
	高圧ナトリウムランプ 270W	NHT270.LSS-N	60
	高圧ナトリウムランプ 360W	NHT360.LSS-N	30